

No.2028

10月2日例会 プログラム 「職業奉仕月間に因んで」 職業奉仕委員会 大西正高委員長

10月9日例会 プログラム 「ベトナム紀行」 三宅 孝治君

10月2日のメニュー ・シーフードフライの三種盛り(カキ、秋鮭、ホタテ貝)・シーズンサラダ・フルーツ&アップルパイ・ロール&バター・コーヒー

前回(9月25日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	25名	欠席者数	8名	出席率	75.76%	前回補正率	81.82%
	前回補正者	藤田君 白石君 安江君								
	欠席者	井上君 三谷君 仲田君 小野君 島田君 白石君 富永君 山田(次)君								

会長挨拶

9月20日の日曜日、玉野ロータリークラブが支援しているエコライフ玉野の体験学習第4回「竹炭の浄化効果を調査」と題する講座に、会長、幹事、三宅孝治社会奉仕委員長、三宅保昭会員の4名で参加しました。午前には普段一般人が入れない玉野浄化センターで家庭等から流入する下水から浄化して海への放水までの水質浄化の過程を見学し、同センター実験室で浄化に利用する微生物の塊(活性汚泥)を顕微鏡により観察し微生物の活動を見ました。午後には、エコライフ玉野が浄化活動をしている「蛭池」で竹炭浄化施設の見学と蛭池で水の採取を行い、山田市民センターで米のとぎ汁に活性汚泥を加え浄化の効果実験、蛭池の入口と竹炭布設場所を過ぎた場所で採取した水の水質検査(パックテスト:試薬により汚染度により色が異なる簡易キット)を行いました。竹炭の浄化効果が確認できたと思いますが、12月には第6回講座で竹林整備(竹伐採・竹割り)があります。社会奉仕活動として多くの会員で参加して玉野ロータリークラブを広報したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

幹事報告

- ・(財)ロータリー米山記念奨学会より10月の米山月間に関する『豆辞典』他資料が届いております。
- ・本日、地区大会の登録料10,000円を集金させていただきますので宜しくお願い致します。
- ・10月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=90円
- ・他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

委員会報告

- ・ハイロー会(谷口ハイロー会幹事):①9月20日(日)の第168回ハイロー会におきましてはご参加頂きました皆様方には本当にありがとうございました。②第36回4クラブチャリティーゴルフコンペのご案内を配布させて頂きました。多数のご参加をお願い致します。10月2日(金)までに事務局へFAX(33-2225)にてご返信ください。<日時:2009年11月3日(火)8:30~受付、場所:玉野ゴルフ倶楽部>

スマイル・ボックス

- ・星野君-先日は“ハイロー会”ありがとうございました(岡 眞司様よりのメッセージ)。
- ・松尾君-山田様・宮原様・近藤様・岸本様、ハイロー会でお世話になりました。
- ・林君-①北アルプス立山~薬師岳の縦走登山をしてきました。②前回欠席。
- ・渡邊君-公害審査会のため早退します。 ・三宅(照)君-早退します。

プログラム 「日本のことわざ」 緋田 秀雄君

私の先の卓話の時に、「私の読書暦」のお話をさせて頂きましたが、最近は作家名「高橋克彦」の小説に凝っております。この作家の作品の中には「伝奇小説」、「怪奇小説」、「推理小説」と多岐に亘る本を書いております。多々読みましたが、その中でタイトル「偶人館殺人事件」と云う推理小説に出会いました。

探偵役として二世の人が登場し、事件解決の途中で仲間との会話の中に日本人としてもなかなか難解な「ことわざ」が出てきます。これは面白そうだと思います、色々調べた結果、「日本のことわざ」の中には多年の生活の積み重ね、また経験を通じた人類の英知が多く含まれているようです。これらの語句は処世上の微妙な真理をとらえていたり、人生の機微をうがつ諷刺を含むものもあります。我々は便利な語句として無意識に使っていますが、その本来の意味や使い方を知ったうえで差別的、侮蔑的に用いないように考えるべきでしょう。

これから中味に入りますが、この卓話では「ことわざ」と「故事」と云う事でお許しください。即ち「故事」とは中国の古典に基づくものが多いとご理解ください。

先ず第Ⅰに日本人ならば殆どの人がわかる「故事・ことわざ」をお話致します。第Ⅱには人間の本質をつく、第Ⅲは難解な事をお話致します。

☆第Ⅰ：①朝起きは三文の得 ②商いは牛のよだれ ③飴をしゃぶらせる ④人はよめよりただ心
⑤会うは別れのはじめ ⑥悪銭身につかず ⑦悪に強ければ善にも強し

☆第Ⅱ：①男女七歳にして席を同じゅうせず ②後は野となれ山となれ ③浅瀬に仇浪 ④雨だれ石
を穿つ ⑤渡る世間に鬼はない ⑥郷に入れば郷に従え ⑦喰うに倒れず病に倒れる

☆第Ⅲ：①猿は喰わねど高楊枝 ②猫真似声に油断すな ③人噛み馬にも合い口 ④蚊死なず ⑤口
果報、⑥廊下とんび ⑦狂を学ばば狂なり ⑧化け物に面 ⑨尼は言い出し ⑩うわさをすれば影をさす

最後に私の心に本当に残った「故事」、「ことわざ」をお話しておきます。とくに父親より母親に対する事が多いようです。

先ず第 1 に子から母親への事：「子は母の醜きを嫌わず」。即ち、子は今は無理でも時間がたてば、子はやはり母親を愛するものである。

第 2 に母親から子への事：「子ゆえの闇」。即ち、子を思うあまり、正常な母親としての心を見失ってしまうものである。

以上拙いお話でした。

